

令和4年度

「就職先からの
卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」
集計結果報告書
(令和2年度卒業生対象)



高松大学



高松短期大学

目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	2
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	4
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	8
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	9
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	13
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	14
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	19
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	20
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	22
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	27
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	29
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学卒業生に関するアンケート（企業等）	33
(2) 高松大学発達科学部卒業生に関するアンケート（教育・保育等）	34
(3) 高松短期大学保育学科卒業生に関するアンケート	35
(4) 高松短期大学秘書科卒業生に関するアンケート	36

令和4年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

令和2年度卒業生の就職先（大学、短大、大学院）

※ 卒業後1年を経過した者に関するアンケート

※ 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

3. 実施日・回収期日

実施日：令和4年7月

回収期日：令和4年7月末まで

4. 実施方法

令和2年度卒業生の就職先に、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。また、記述部分は内容ごとにまとめる。

7. 発行形式等

簡易製本：7部

（大学各学部長、短大各学科長、研究科長、小会議室、キャリア支援課に配架）

学内公表：教職員には小会議室、スケジュールボード（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和4年9月30日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）

依頼数 48 に対し、協力数は 27 で回収率は 56.3%（昨年：依頼数 55 に対し、協力数は 30 で回収率は 54.5%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 か月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 69.2%とやや高い評価を得ている。「やや応えていない」が 15.4%（4 件のうち 1 件：退職者）を占めている。また、「応えていない」という回答はなかった。

昨年と比較すると、「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 73.4%から 69.2%と若干ではあるが減少している。しかし、企業からのコメントを見ると比較的良い評価を得られている。この評価に満足せず、企業の人材ニーズや期待に応えることができるよう、より一層キャリア教育に力を入れていく必要がある。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 57.7%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 30.8%、「どちらかというやや低い」の割合が 11.5%を占めている。また、「全体として低い」という回答はなかった。

昨年に比べ、「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 50%から 57.7%と数値が上がっている。今回のアンケートについては、今年度についても昨年度同様新型コロナウイルスの影響もあり、研修後実質仕事に携わる時間が短く、まだ評価するには時間が必要であると考えられる。しかし、企業側から、「人柄が良く、コミュニケーションも十分」というコメントがみられたことから、短期間ではあるが力を十分に発揮している卒業生もいる。一方、「基礎学力のレベルが低い」などのコメントがみられたことから、学生一人ひとりとより一層深く関わり、キャリア教育のみならず、総合的な能力や意識を向上させることができるよう、キャリア支援課と経営学部とがさらに一体となって教育に取り組んでいく必要がある。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 57.7%、「何ともいえない、わからない」の割合が 38.5%、「あまり熱心でない」の割合が 3.8%を占めている。また、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

就職支援活動や採用依頼活動に対する熱心さの割合は、56.6%から 57.7%と昨年よりも若干ではあるが上がっている。キャリア支援課による学生指導とサポート、そして、経営学部教員全体でも担当学生への直接的な指導や就職活動セミナーへの参加、また、キャリアカウンセラー利用へのアプローチを積極的に取り組んできた結果であるだろう。しかし、この現状に満足することなく、学生が望む就職先あるいは選択肢を広げることができるよう、キャリア支援課と経営学部とが一体となって就職における全般の活動に力を尽くしていく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 88.5%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」の割合が 11.5%を占めている。また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

今後の本学卒業生の求人・採用に関して、「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学

と同じレベルで求人・採用を考えていく」の数値が 58.6%から 88.5%と昨年に比べ大幅に上がっている。このことから、各企業が求めている力に卒業生の就業力が追いついてきているといえるだろう。しかし、この現状に満足することなく、本学の特徴を十分に生かし、積極性かつ就業力を備えた学生に育てていけるよう、キャリア支援課と経営学部が一層連携し、一人ひとりに対してさらにきめ細やかな教育を行っていく。

V. 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」の回答が一番多く、次に「コミュニケーション能力」、「意欲・熱意」の回答が多く見られた。

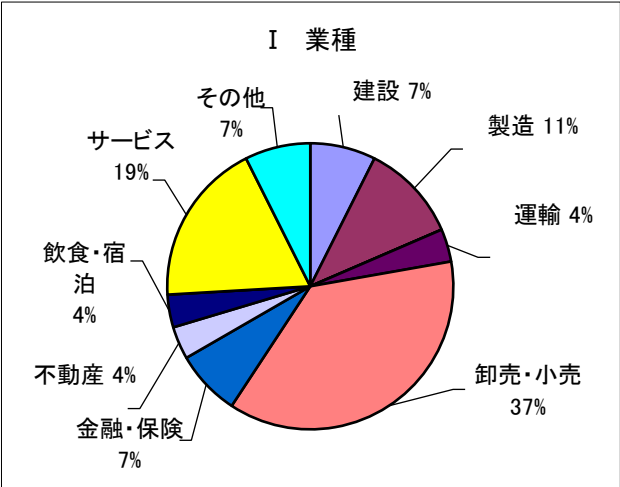
例年と同様、「性格・人柄」「コミュニケーション能力」「意欲・熱意」の回答が多かった。次に「健康・体力」、そして「自ら何事かを成し遂げようとする力」の回答が多い。これらの能力はすぐに身に付く能力ではないので、日頃の授業だけでなく学生指導、キャリア教育すべてを通して継続的に連動性を持って養成していく必要がある。今後も、キャリア支援課と経営学部を中心に教職員がさらに連携をとって学生指導に努めていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和2年度高松大学経営学部卒業生就職先 48社		
実施時期	令和4年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	48社	
	協力数	27社	
回収率		56.3%	

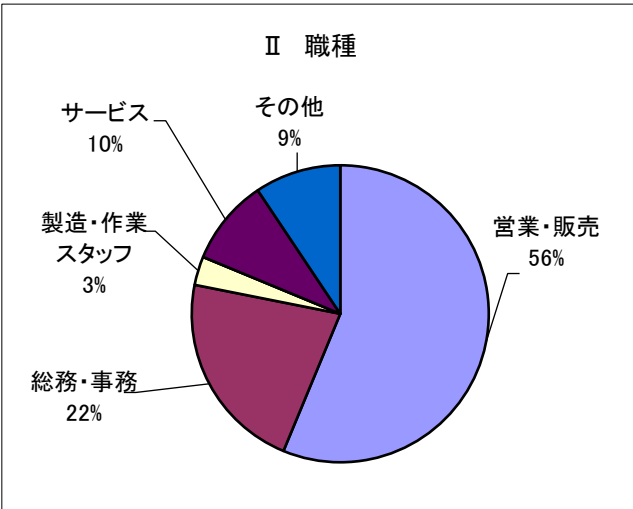
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	2
2	製造	3
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	1
6	卸売・小売	10
7	金融・保険	2
8	不動産	1
9	飲食・宿泊	1
10	医療・福祉	0
11	サービス	5
12	その他	2



II・III 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	15	18	0	1
2	総務・事務	5	7	0	0
3	製造・作業スタッフ	1	1	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0	0
5	サービス	3	3	1	0
6	公務	0	0	0	0
7	その他	3	3	0	1

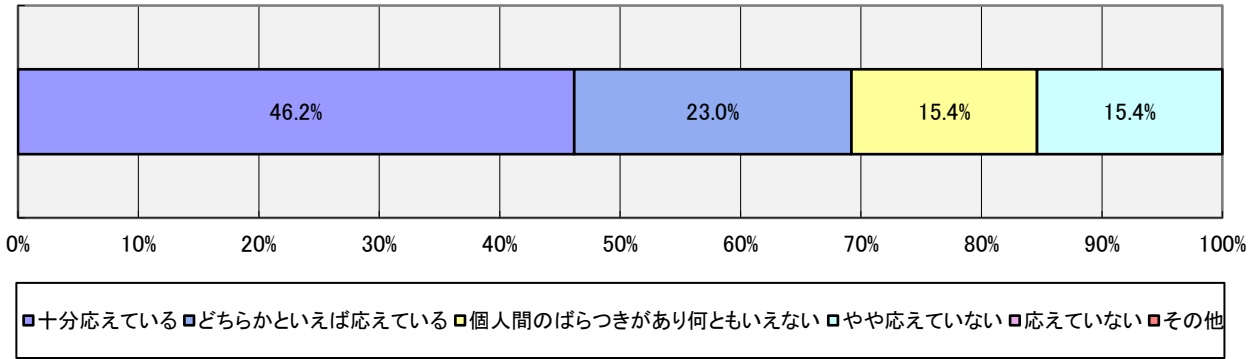


IV 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	12
2	どちらかといえば応えている	6
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	やや応えていない	4
5	応えていない	0
6	その他	0

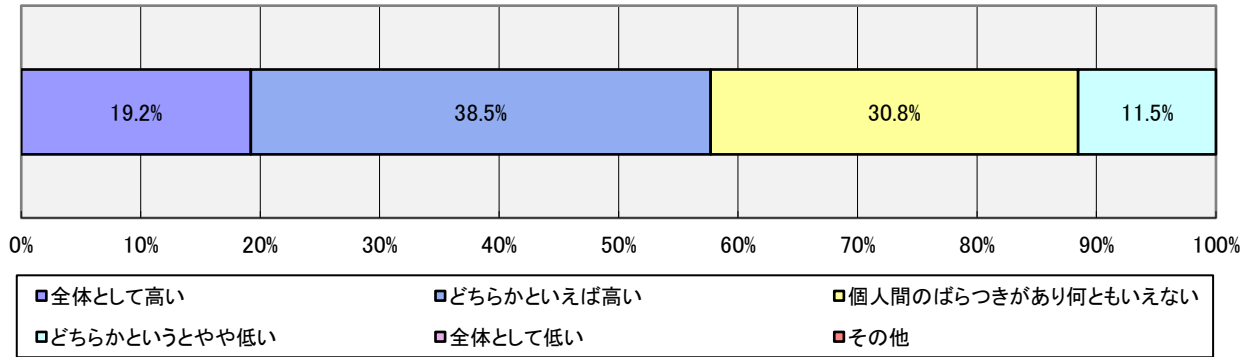
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	10
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	8
4	どちらかというやや低い	3
5	全体として低い	0
6	その他	0

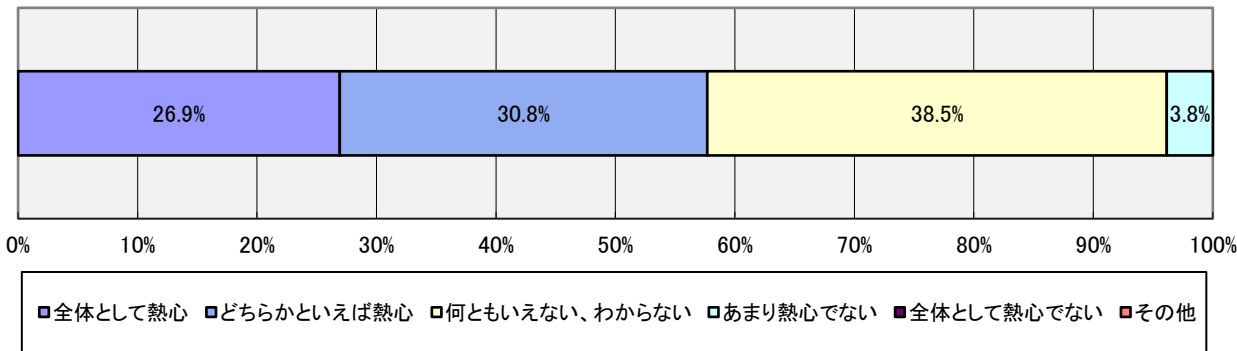
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	7
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	10
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

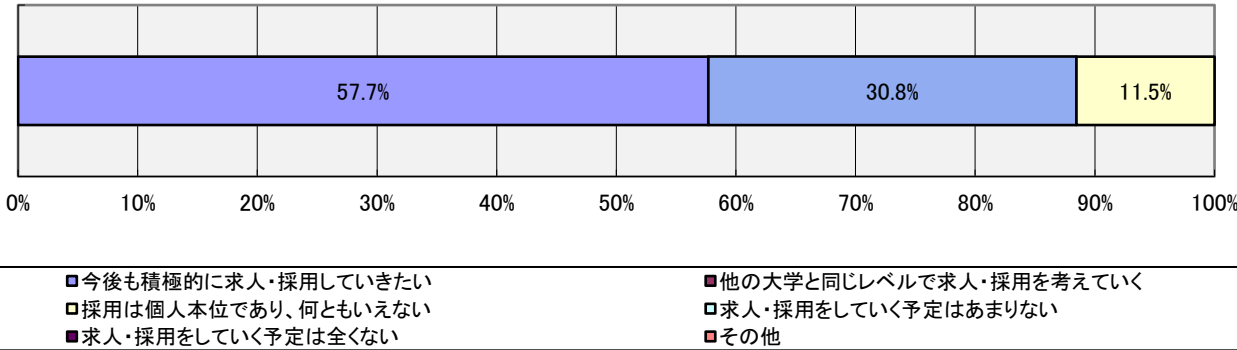
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

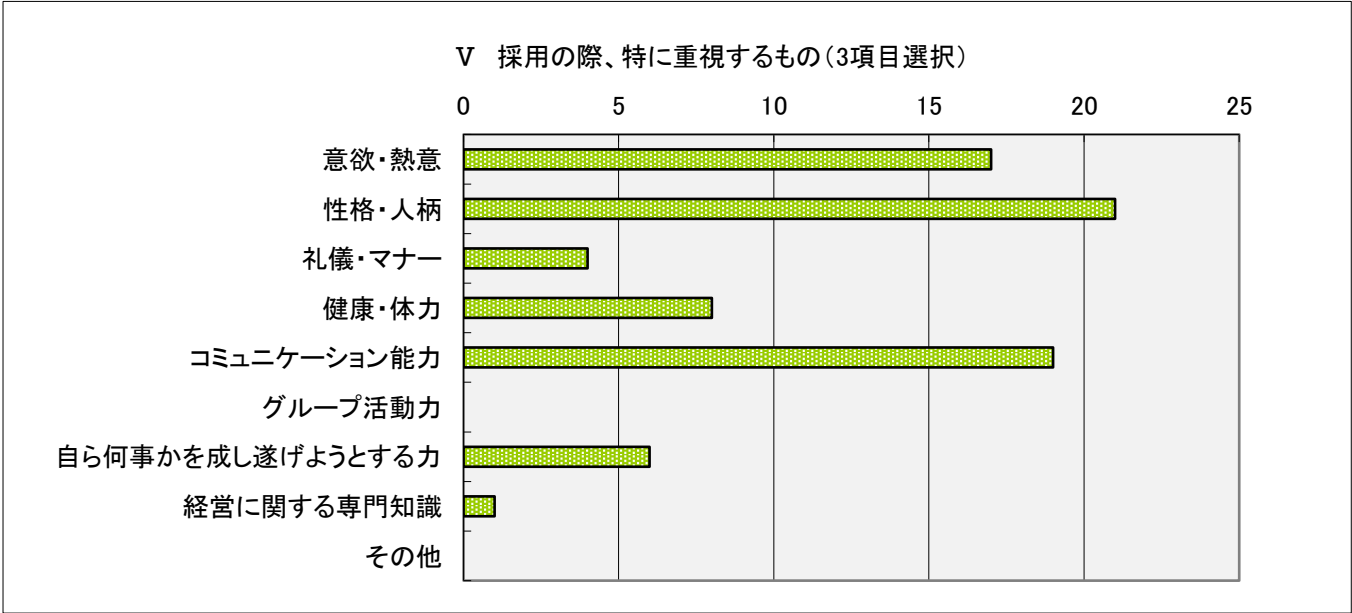
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	15
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	8
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	3
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。



V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	17
2	性格・人柄	21
3	礼儀・マナー	4
4	健康・体力	8
5	コミュニケーション能力	19
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	6
8	経営に関する専門知識	1
9	その他	0



令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）

依頼数 17 に対し、協力数は 13 で回収率は 76.5%（昨年：依頼数 18 に対し、協力数は 10 で回収率は 55.6%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」が 69.2%（9 社）、「どちらかといえば応えている」、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」がそれぞれ 15.4%（2 社）を占めている。また、「やや応えていない」、「応えていない」という回答はなかった。

採用2年目を迎え、企業等から卒業生に求められるものが、採用当時に比べ厳しくなる中、回答のあった企業の約8割（11/13 社）が「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の評価をしていただいたことは喜ばしい限りである。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」が 30.8%（4 社）、「どちらかといえば高い」が 30.8%（4 社）で、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 38.4%（5 社）を占めている。また、「どちらかというやや低い」、「全体として低い」という回答はなかった。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」と回答した企業は合わせて約 62%であり、昨年度（約 6 割）とほぼ同じであった。採用時に比べて企業等の評価が厳しくなるのは当然のことであり、卒業生の一層の活躍に期待したい。

Ⅳ-3. 本学卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」が 30.8%（4 社）、「どちらかといえば熱心」が 23.1%（3 社）で、「何ともいえない、わからない」が 46.1%（6 社）を占めている。また、「あまり熱心でない」、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」と回答した企業は合わせて約 54%であり、昨年度（約 5 割）とほぼ同じであった。企業の肯定的な評価を高めていくために、ゼミ担当教員－キャリア支援課－企業が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を図っていく必要がある。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」が 69.2%（9 社）、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 15.4%（2 社）で、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 15.4%（2 社）を占めている。また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」と回答した企業は合わせて約 85%であり、昨年度（約 90%）と概ね同じで有難いことである。今後もキャリア支援課が学部と企業等とのパイプ役として企業等が求める人材育成に努め、地域貢献への寄与を一層確かなものとして取り組んでいく。

Ⅴ 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」（10 社）、「意欲・熱意」（9 社）、「コミュニケーション能力」（9 社）といった資質・能力を上げる企業が多く見られた。

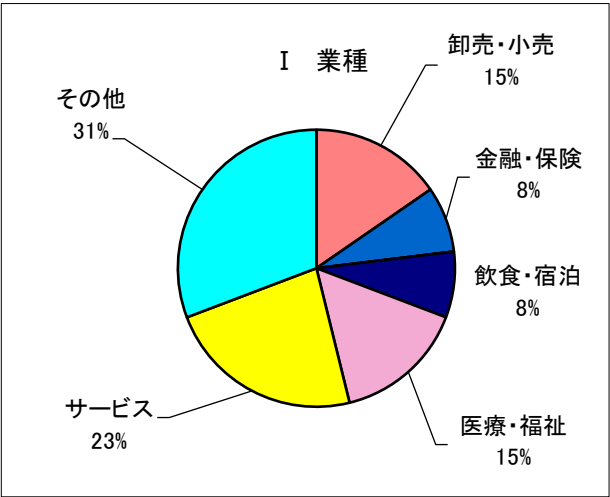
回答の多かった上位3項目は教育・保育等においても同じであり、企業が求めている職業人としての資質と言える。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション能力（話す力）を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和2年度高松大学発達科学部（企業等）卒業生就職先		17社
実施時期	令和4年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	17社	
	協力数	13社	
	回収率	76.5%	

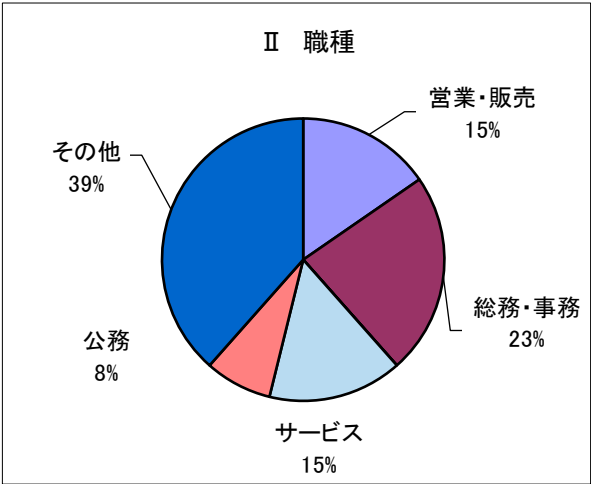
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	0
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	2
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	1
10	医療・福祉	2
11	サービス	3
12	その他	4



II・III 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	2	2	0
2	総務・事務	3	3	0
3	製造・作業スタッフ	0	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	2	2	1
6	公務	1	1	0
7	その他	5	5	0

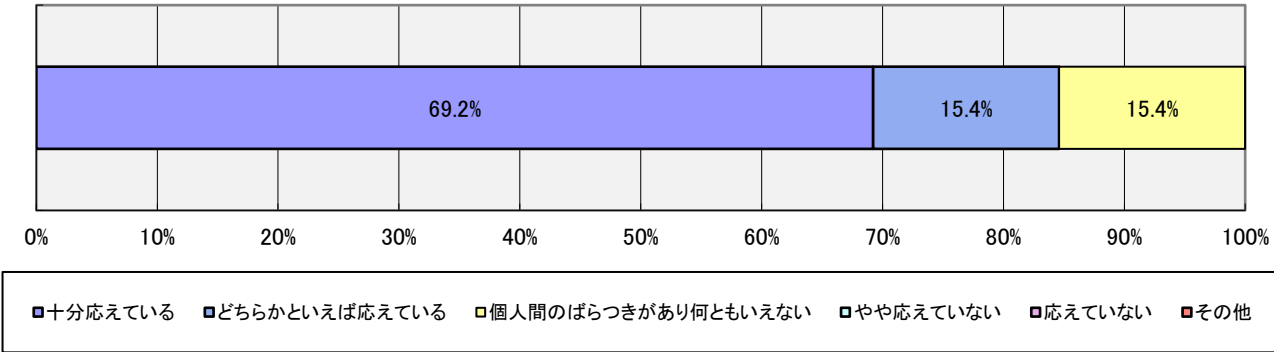


IV 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	9
2	どちらかといえば応えている	2
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

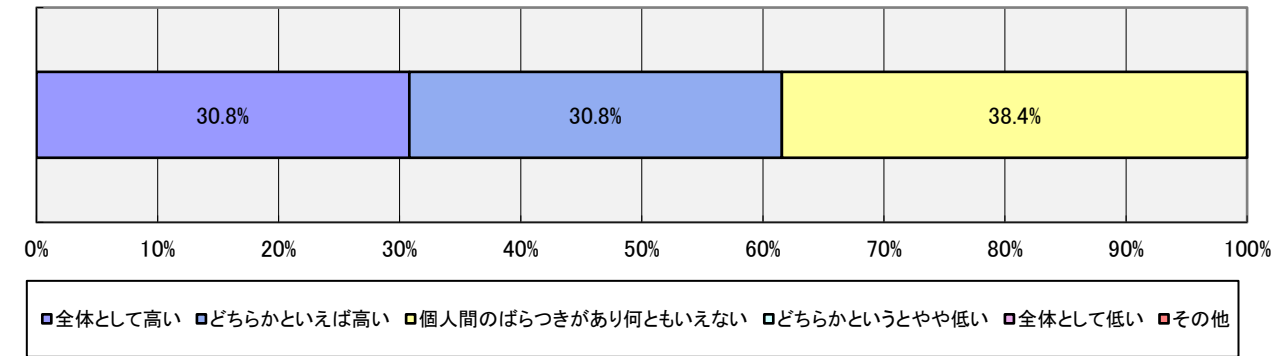
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	4
2	どちらかといえば高い	4
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	5
4	どちらかというやや低い	0
5	全体として低い	0
6	その他	0

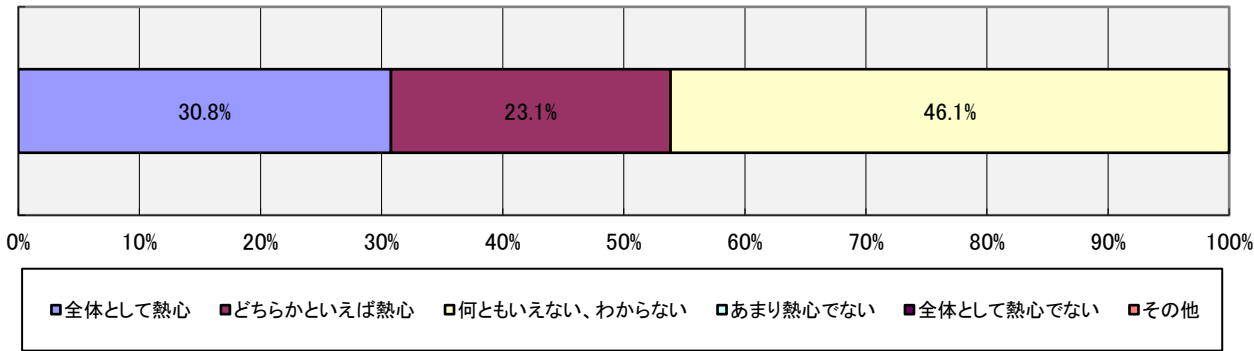
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	4
2	どちらかといえば熱心	3
3	何ともいえない、わからない	6
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

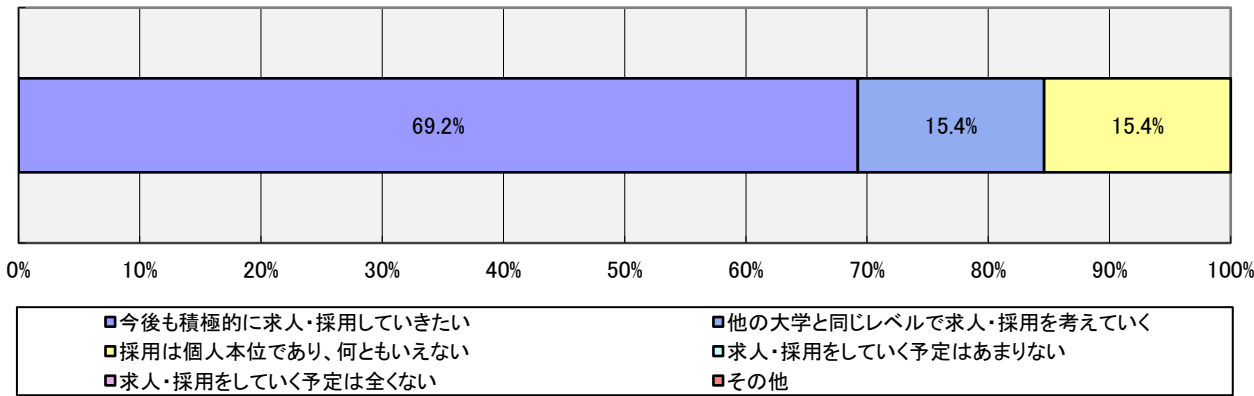
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

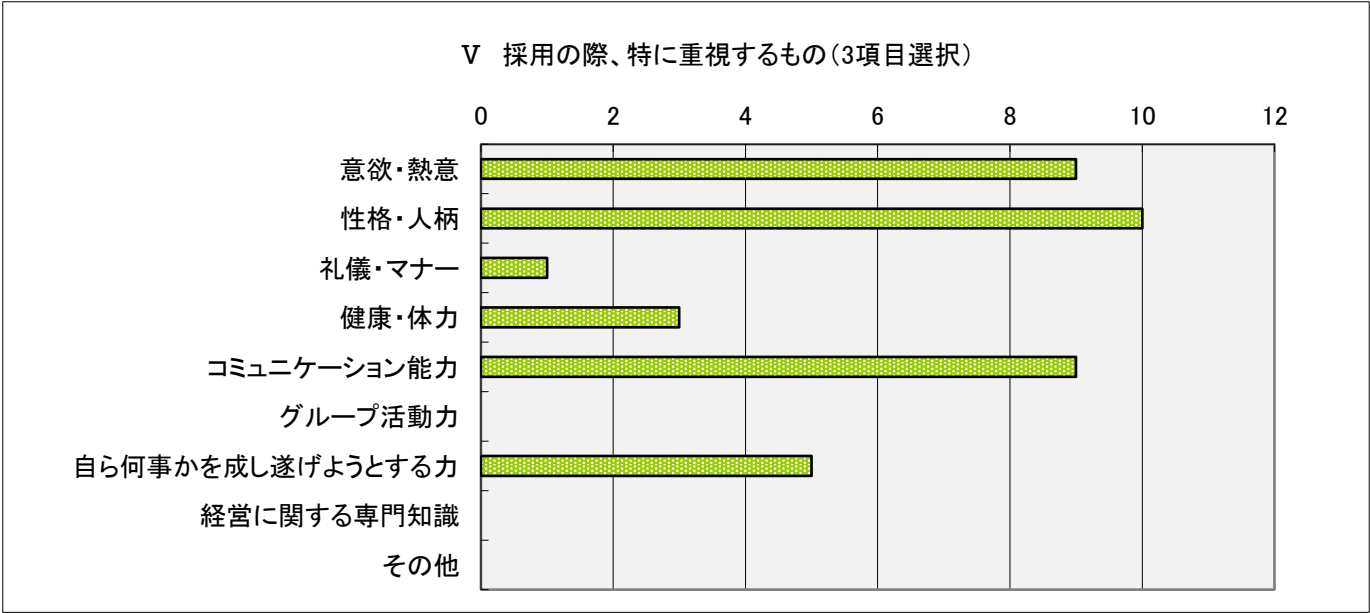
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	9
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	2
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	2
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。



V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	9
2	性格・人柄	10
3	礼儀・マナー	1
4	健康・体力	3
5	コミュニケーション能力	9
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育等） 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）

依頼数 50 に対し、協力数は 41 で回収率は 82.0%（昨年：依頼数 48 に対し、協力数は 37 で回収率は 77.1%）であった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園、所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 78.2%とやや高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 14.6%を占めている。また、「やや応えていない」「応えていない」という回答は 4.8%であった。

昨年度は「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の回答が合わせて約 73%であったが、今年度は合わせて約 78%と増加している。経験に伴い求められるものが大きくなっている中、高い評価をしていただいたことは喜ばしいことである。

Ⅲ-2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 63.4%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 29.3%、「どちらかというやや低い」が 4.9%を占めている。また、「全体として低い」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の回答が合わせて約 51%であったが、今年度は合わせて約 63%と増加している。教育現場では幾多の壁や困難に遭遇することになるが、失敗経験から学び、教職に対する強い意志と粘り強さを持ち続け、誰からも信頼される教育者となることができるよう、学生の育成に尽力していきたい。

Ⅲ-3. 本学の貴校（園、所）への採用依頼活動や卒予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 48.0%、「何ともいえない、わからない」が 40.0%、「あまり熱心でない」という回答は今年度は合わせて約 78%と増加している。8.0%を占めている。また、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の回答が合わせて約 55%であったが、今年度は合わせて約 48%と少し減少している。肯定的な評価を高めていくために、ゼミ担当教員－キャリア支援課－幼稚園・保育所・認定こども園が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を進めていく必要がある。

Ⅲ-4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 77.0%であり、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 11.5%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」が 3.8%で、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。「その他」は 7.7%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の回答の割合について見てみると、昨年度は約 75%であったものが、今年度は約 54%と大幅に減少している。教育・保育の現場が本学発達科学部の学生に期待して頂いている部分が大きいだけに、その信頼に応えられるよう、教職を目指す学生への指導・育成に学部を挙げて一層尽力していきたい。

Ⅳ 貴校（園、所）で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が最も多く、続いて「コミュニケーション能力」の回答が多く見られた。

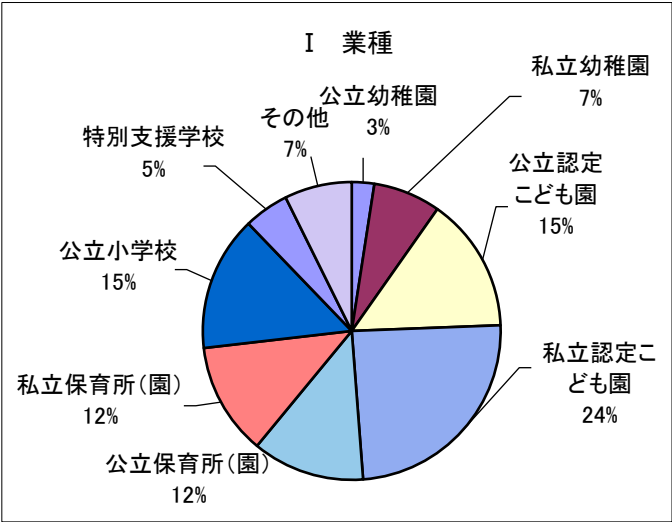
回答の多かった上位3項目は企業等においても同じであり、教育者としての資質である。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション能力（話す力）を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育等)

調査対象	令和2年度高松大学 発達科学部 (教育・保育) 卒業生就職先 50校 (園・所)		
実施時期	令和4年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	50校 (園・所)	
	協力数	41校 (園・所)	
回収率		82.0%	

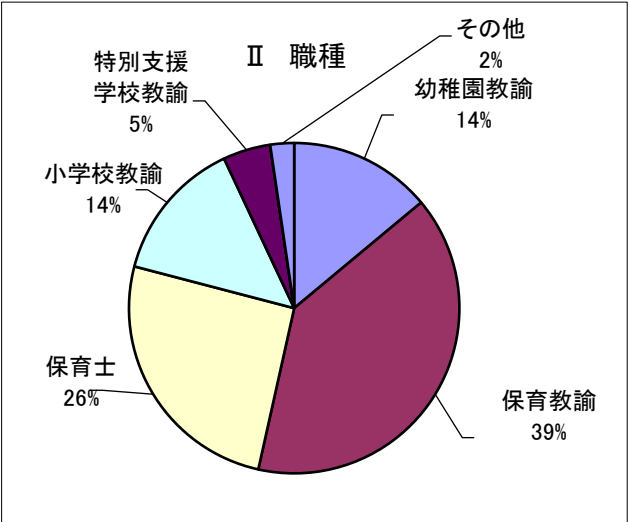
I 貴校 (園・所) の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立幼稚園	1
2	私立幼稚園	3
3	公立認定こども園	6
4	私立認定こども園	10
5	公立保育所 (園)	5
6	私立保育所 (園)	5
7	公立小学校	6
8	特別支援学校	2
9	その他	3



II 令和3年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の仕事 (職種) ごと的人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者 (6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	6	6	1
2	保育教諭	16	17	2
3	保育士	10	11	0
4	小学校教諭	6	6	0
5	特別支援学校教諭	2	2	0
6	地域子育て支援センター職員	0	0	0
7	学童保育担当	0	0	0
8	病児保育担当	0	0	0
9	その他	1	1	0

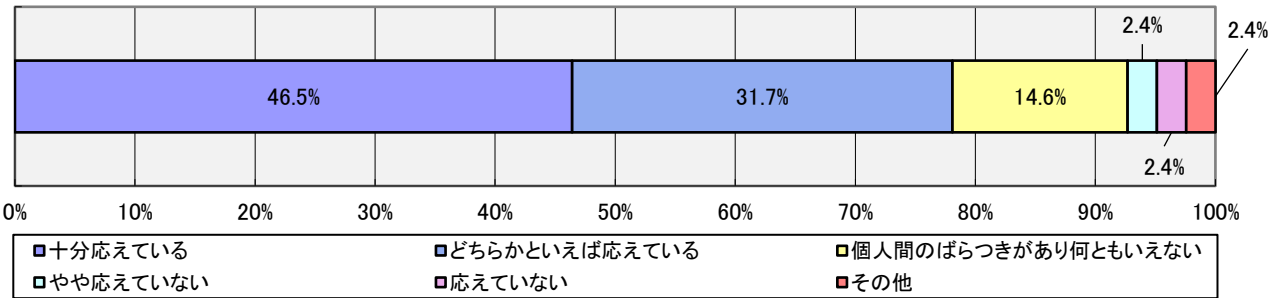


Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	19
2	どちらかといえば応えている	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	6
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	1

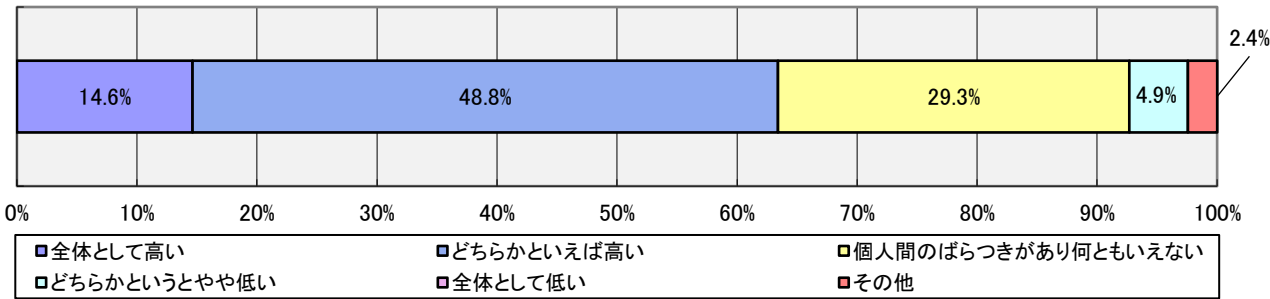
1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	6
2	どちらかといえば高い	20
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	12
4	どちらかというとやや低い	2
5	全体として低い	0
6	その他	1

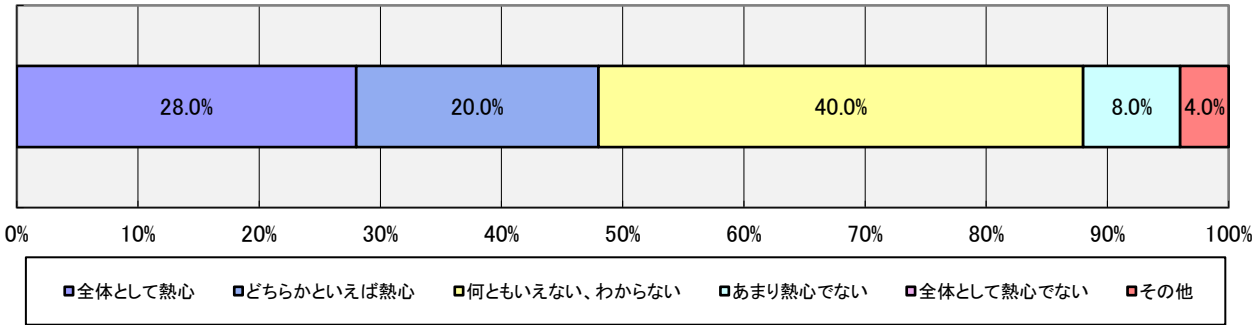
2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	7
2	どちらかといえば熱心	5
3	何ともいえない、わからない	10
4	あまり熱心でない	2
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

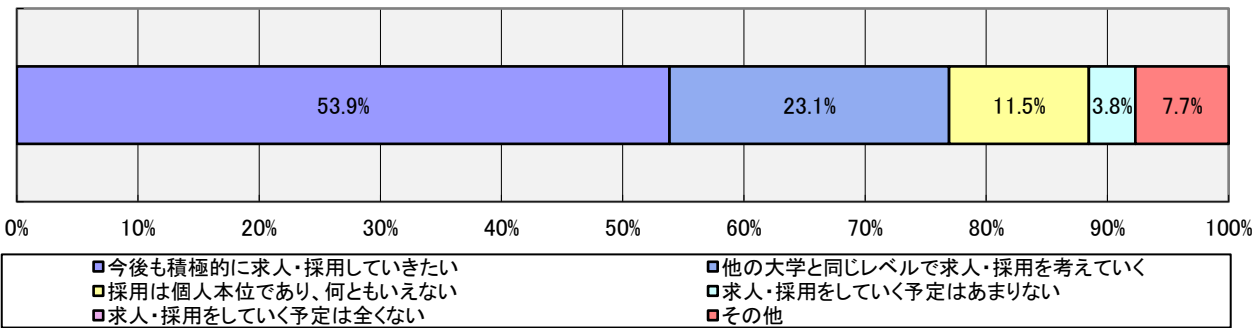
3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

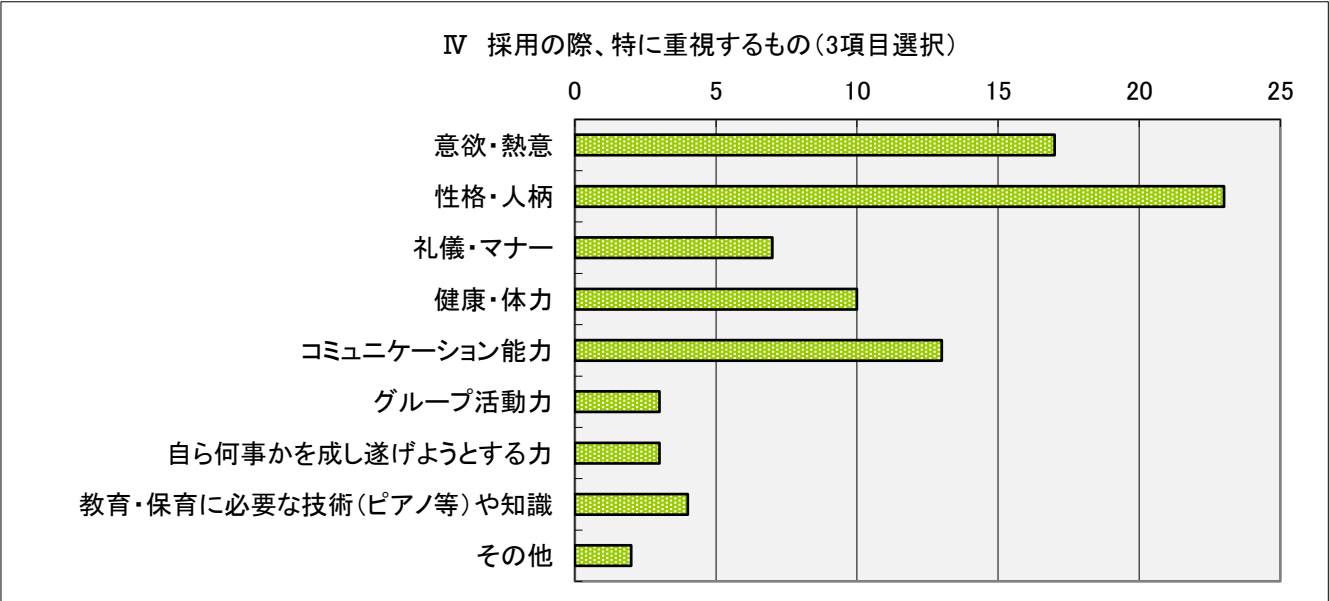
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	14
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	6
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	3
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	2

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



IV 貴校(園・所)で、採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

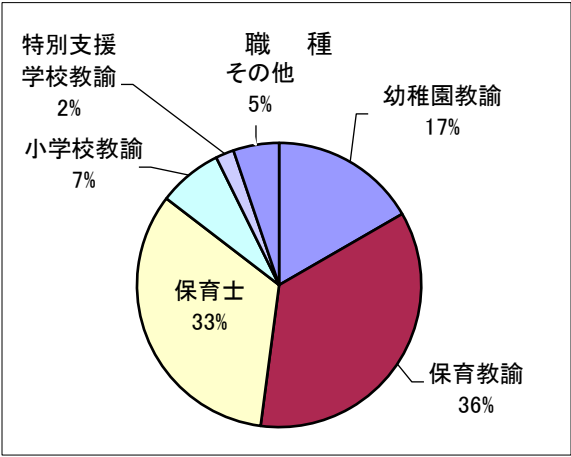
	項 目	件数
1	意欲・熱意	17
2	性格・人柄	23
3	礼儀・マナー	7
4	健康・体力	10
5	コミュニケーション能力	13
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	3
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	4
9	その他	2



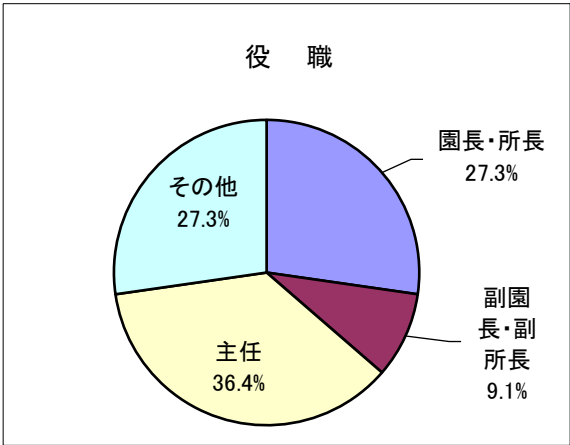
VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。
 貴校(園・所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、職種、役職者数についてもお答えください。

	職 種	件数	人数
1	幼稚園教諭	4	16
2	保育教諭	15	34
3	保育士	8	32
4	小学校教諭	6	7
5	特別支援学校教諭	2	2
6	その他	2	5

	卒業生数	37	105
--	------	----	-----



	役 職	件数	人数
1	園長・所長	2	3
2	副園長・副所長	1	1
3	主任	4	4
4	その他	3	3



**令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート）
大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）**

該当者なし

令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）

依頼数 41 に対し、協力数は 34 で回収率は 82.9%（昨年：依頼数 51 に対し、協力数は 38 で回収率は 74.5%）であった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 76.4%とやや高い評価になっている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 14.7%を占めている。また、「応えていない」の割合が 3.3%（1 件）であった。

就職当初よりコロナ対応が日常となっており、その中での卒業生の勤務状況についてはつかみにくいところではあるが、8 割近くの卒業生については、概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようである。これは、学生時代にも意欲的に授業に臨むなど本人の資質がすぐれていた者もいるが、就職してからの卒業生本人の努力や成長によるところも大きいと思われる。また「十分応えている」に○を付けていただいた卒業生の中には、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築することができた者も見られ、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。

「個人間のばらつきがあり何ともいえない」に○のついている卒業生については、複数採用により、卒業生個々人の差があることから、本学に対する評価としては何ともいえないということと思われる。ただ、1 名採用の施設についてもここに○がついている場合があり、過去に採用となった先輩方に対する評価と併せて本学評価を考えられた場合や、本人の中に良さや課題が混在していることから一概に評価しにくい状況があると捉えられた可能性もある。

「やや応えていない」と「応えていない」に○の付いていた卒業生については、早期離職による期待外れと保育者としての未熟さが要因にあるように思われる。本人のやむを得ない事情もあるとは思われるが、施設側としては厳しい評価とならざるを得ないところである。これらの卒業生は在学中にも課題を感じていた者が多く、即戦力としては及ばずとも、保育者としてのあるべき姿を理解し誠実に取り組めるよう、養成に努めていかなければならないことを強く意識するものである。

Ⅲ-2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」の割合が 20.6%、「どちらかといえば高い」の割合が 29.5%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 44.1%を占めている。また、「全体として低い」という回答はなかった。

比較的高い評価をいただいたものが半数弱と、厳しい評価になっている。国公立就職者等、在学中から保育者としての意識が高かった学生には高い評価傾向が見られており、卒業生本人の努力や成長もあつてのことだが、保育学科の指導の在り方を確認する上でも有益な結果であった。引き続き、高い評価をいただけるよう、より良い指導を追求していきたい。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」のみで 4 割にもなっており、Ⅲ-1 同様、施設側の捉え方の幅を感じるころであるが、それでも保育者としての資質に課題を感じる場面が多いと言わざるを得ないのであろう。しかしながら、現場で時間をかけて育てていきたいという意見も自由記述にはいくつか見られており、OJT 研修による成長に期待するところである。今回、「全体としてやや低い」はなく、「どちらかというやや低い」と評価された学生 1 名は、Ⅲ-1 同様、在学中に課題を感じた学生である。毎年、一定数はこうした学生が散見されることから、個別対応の充実を図っていくことも重要と考える。

Ⅲ-3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が61.8%であった。「何ともいえない、わからない」が29.4%であり、「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」の割合が8.8%であった。

「何ともいえない、わからない」に○が付いている公立園は各市町としての採用であるためやむを得ないものである。私立の施設については、この3年間、コロナ感染症の発生状況等によりそれ以前のような採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が十分に行われていないのは確かである。また、学生の就職志望の有無も大きく関係してくるので難しくもあるが、キャリア支援課といういつでも対応してくれる開かれた窓口もあり、年間を通しての就職への意識付けを行うとともに、保育補助ボランティア・アルバイトや施設見学も含め、就職希望施設との事前のつながりがもてる機会について積極的に働きかけていきたい。

Ⅲ-4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の割合が67.6%、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」を合わせると82.4%の割合であった。「採用は個人本位であり、何ともいえない」は11.8%、「その他」は2.9%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

今後の求人・採用に関しても前向きな回答が得られて大変有難い。引き続き、コロナ感染症対策の動向も踏まえながら、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築できるよう保育学科での指導を充実させていく。

Ⅳ 貴園（所）で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」の回答が一番多く、次いで「意欲・熱意」、「コミュニケーション能力」が重視されている。

保育の専門的知識や技能が上位に現れず、上記のような結果になることは、保育者においても職業人としての基本が重視されていることの表れである。したがって、今後も学生の人間性を涵養していくことに努めるとともに、本学が重視する「対話に基づく人間教育」を推進していきたい。

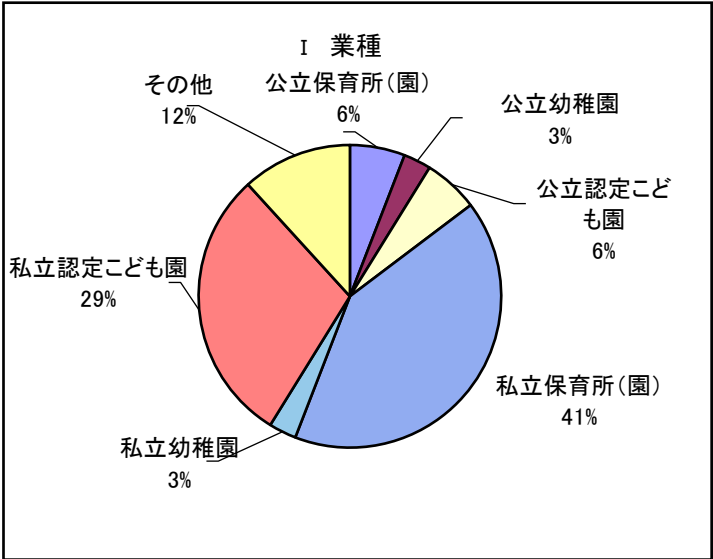
なお、自由記述欄においては、保育者としての基本姿勢の育成と併せ、専門的知識や技能の習得への意見も多く見られている。このことから、各教科での知識・技術の習得に向けても、さらに力を入れていきたいところである。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象	令和2年度高松短期大学保育学科卒業生就職先			41園(所)
実施時期	令和4年7月			
調査方法	郵送による質問紙法			
回収率	依頼数			41園(所)
	協力数			34園(所)
回収率		82.9%		

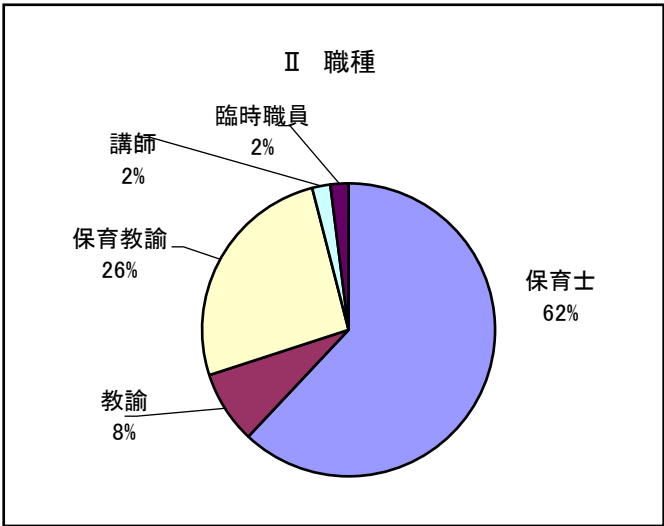
I 貴園(所)の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立保育所(園)	2
2	公立幼稚園	1
3	公立認定こども園	2
4	私立保育所(園)	14
5	私立幼稚園	1
6	私立認定こども園	10
7	その他	4



II 令和3年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

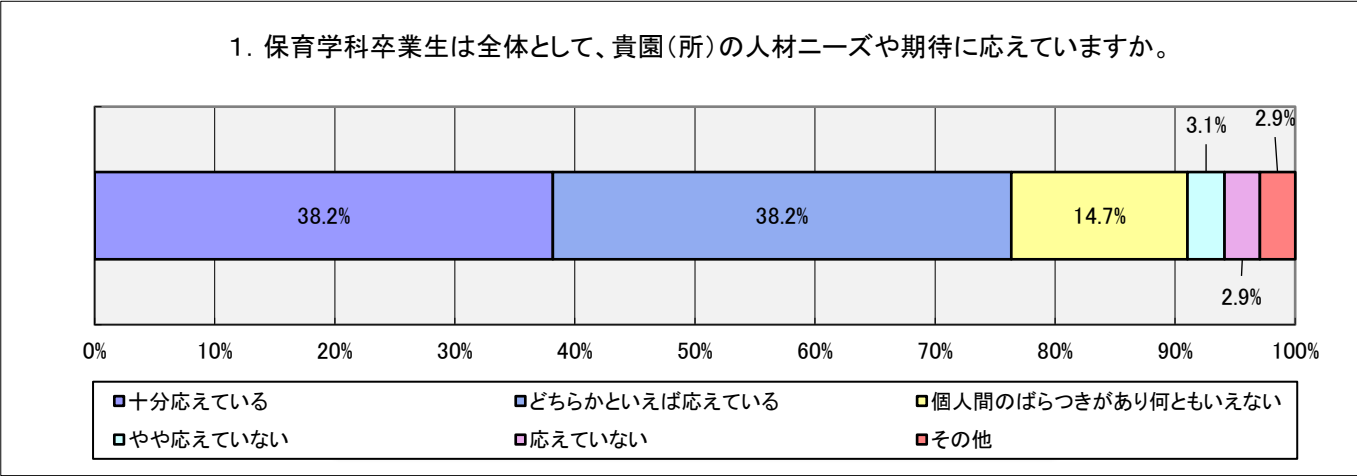
	職 種	園(所)数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	保育士	19	31	1
2	教諭	3	4	1
3	保育教諭	8	13	0
4	講師	1	1	0
5	臨時職員	1	1	0
6	預かり保育	0	0	0
7	地域子育て支援センター職員	0	0	0
8	学童保育担当者	0	0	0
9	病児保育担当者	0	0	0
10	その他	0	0	0



Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

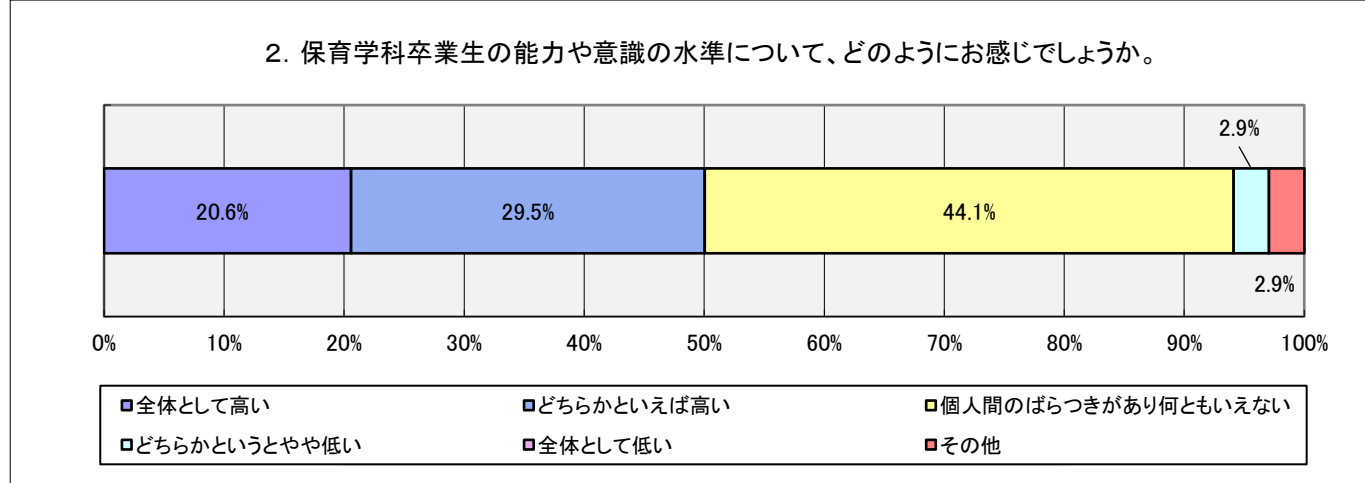
1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	13
2	どちらかといえば応えている	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	5
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	1



2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

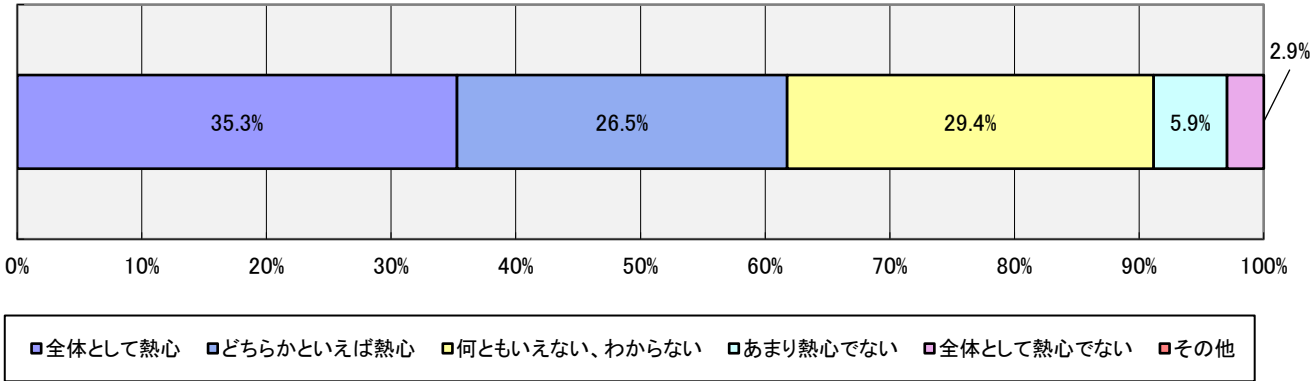
	項 目	件数
1	全体として高い	7
2	どちらかといえば高い	10
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	15
4	どちらかというとやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	1



3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	12
2	どちらかといえば熱心	9
3	何ともいえない、わからない	10
4	あまり熱心でない	2
5	全体として熱心でない	1
6	その他	0

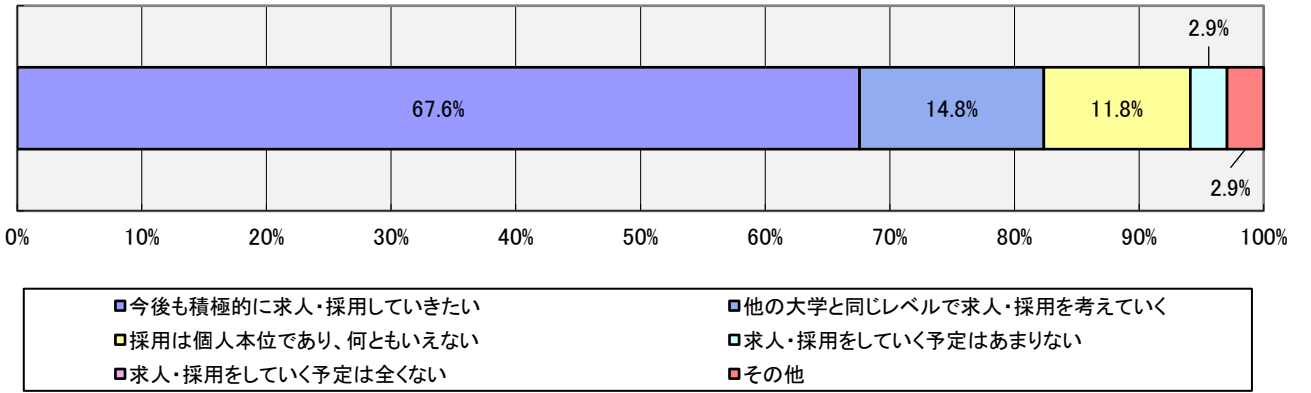
3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

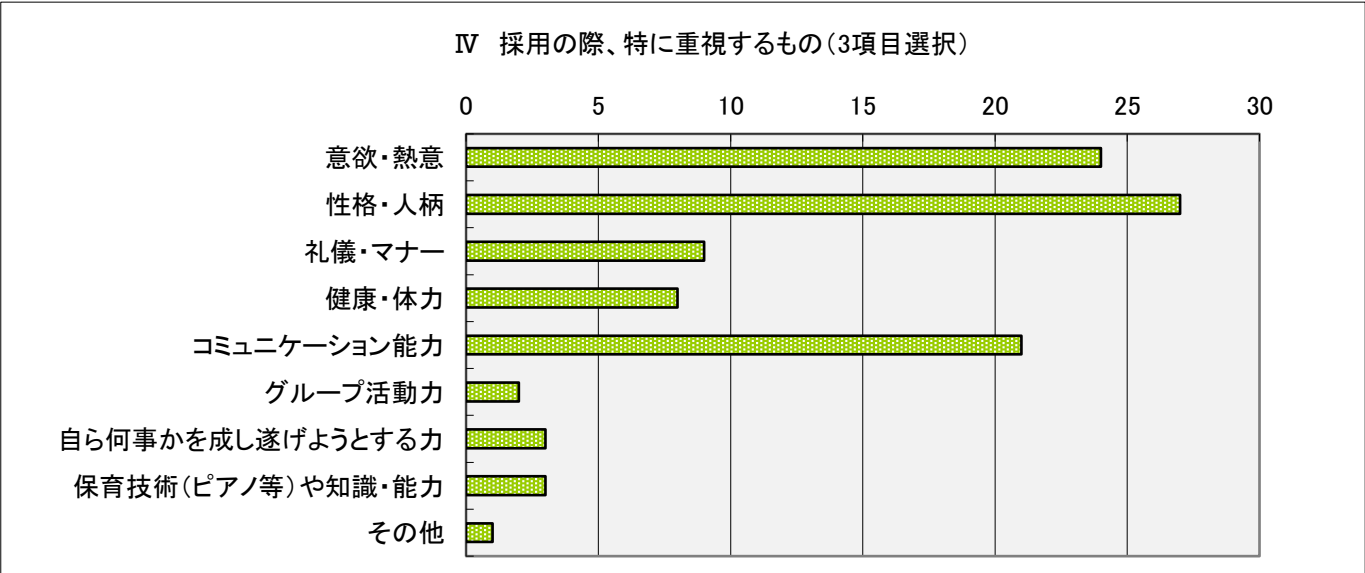
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	23
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	5
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	4
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	1

4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



IV 貴園(所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

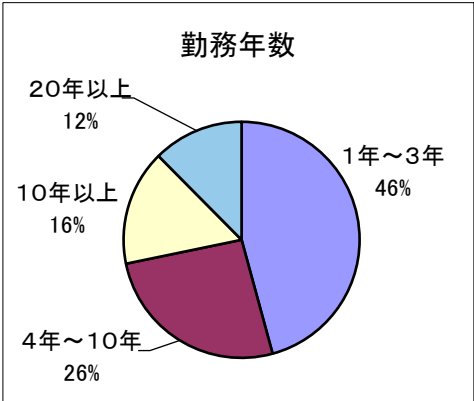
	項 目	件数
1	意欲・熱意	24
2	性格・人柄	27
3	礼儀・マナー	9
4	健康・体力	8
5	コミュニケーション能力	21
6	グループ活動力	2
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	3
8	保育技術(ピアノ等)や知識・能力	3
9	その他	1



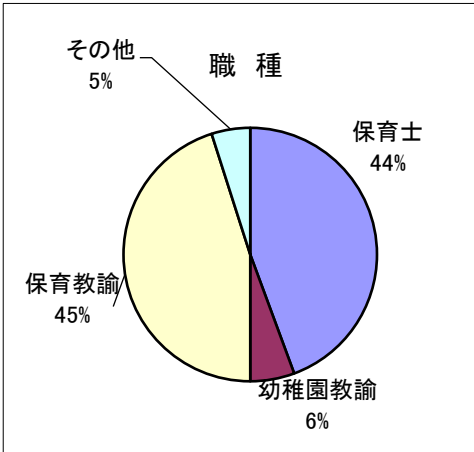
VI 最後に、本学保育学科（幼児教育学科、児童教育学科）の卒業生についてお答えください。
 貴園（所）では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

	項 目	園(所)数	人数
	卒業生数	30	179

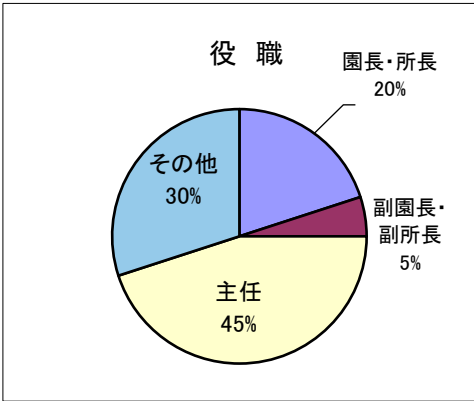
	勤務年数	園(所)数	人数
1	1年～3年	25	81
2	4年～10年	18	46
3	10年以上	12	28
4	20年以上	7	22



	職 種	園(所)数	人数
1	保育士	13	63
2	幼稚園教諭	4	8
3	保育教諭	9	64
4	その他	4	7



	役 職	園(所)数	人数
1	園長・所長	4	4
2	副園長・副所長	1	1
3	主任	8	9
4	その他	4	6



令和4年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和2年度卒業生対象）

依頼数 45 に対し、協力数は 30 で回収率は 66.7%（昨年：依頼数 54 に対し、協力数は 38 で回収率は 70.4%）であった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 79.4%とやや高い評価になっている。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 13.8%、「やや応えていない」の割合が 3.4%、「応えていない」は 3.4%（1件：退職者）であった。

上記の結果から、多くの企業・病院で、秘書科の教育がある程度は活かされていると考えられる。特に、パソコン能力、業務を覚えるスピードが速い等のプラス評価の意見もみられる。しかし、一部の学生で見られる否定的な評価のコメントには「コミュニケーション能力の不足」「基礎的なマナー不足」「コンプライアンスや個人情報保護の教育の充実、プライバシー保護等についてしっかり学んでほしい」等の記述があった。

なお、基礎的なマナー不足等の記述があったのは、秘書科が学修成果としてあげている「① 自ら考え行動できる能力と幅広い教養や、知識・技能を身に付けている」の教育にまだ不十分なところがあることが考えられる。

Ⅲ-2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 64.3%とやや低い評価になっているが、学生の個人差があり、今回の数値は特に問題がないと考えている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 32.1%、「全体として低い」の回答は 3.6%（1件：退職者）であった。

上記の結果から、秘書科の評価は個人差があり難しいと考えられる。企業・病院からのコメントには「前回よかったので、今年の採用も期待している」等の記述があった。

設問Ⅲ-1で否定的な評価になっていた学生が、ほぼそのまま設問Ⅲ-2でも否定的な評価となっていたことより、一部の学生によるマナーに関する教育が必要なこと、コミュニケーション能力が足りていなかったことが考えられる。また、卒業生が良い結果を残すと、今後の採用にプラス評価になっていると考える。

Ⅲ-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は 67.8%と標準的な評価を得ている。「何ともいえない、わからない」の割合が 28.6%、「あまり熱心でない」の回答は 3.6%（1件）であった。

上記の結果から、ここ数年高い評価が続いているのはキャリア支援課の努力や、担当教員が病院・企業訪問を続けていただいた結果であると考えられる。なお、否定的な評価となっている企業・病院で「あまり熱心でない」と回答した企業には、企業訪問を実施し秘書科教員が担当者に挨拶を行った。今後企業とも連携を深めていきたいと考えている。

Ⅲ-4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 66.7%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」の割合が 33.3%を占めている。

また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

上記の結果から、「今後も積極的に求人・採用していきたい」と考えていただいている企業・病院の割合（50.0%）が一番多いのはとても良いことであるが、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 33.3%の割合になる事が気になる。

設問Ⅲ-1 とⅢ-2 で否定的な評価となっていた企業・病院が、採用等について否定的になってい
ると見受けられるため、「礼儀・マナー」等を含め秘書科の教育をきちんと身に付けた学生を就職
させていくことが、今後の就職につながっていく一番の方法だと考えられる。

Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「意欲・熱意」、「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次いで「性格・人柄」が重視
されている。

上記3点の項目は、順番が入れ替わることはあるが、毎年挙げられている事であり、秘書科の最
重要教育課題として取り組んでいる事でもある。今後も上記3点を基本として、教育によりそれら
の能力に秀でた人材を社会に送りだせるように努める。

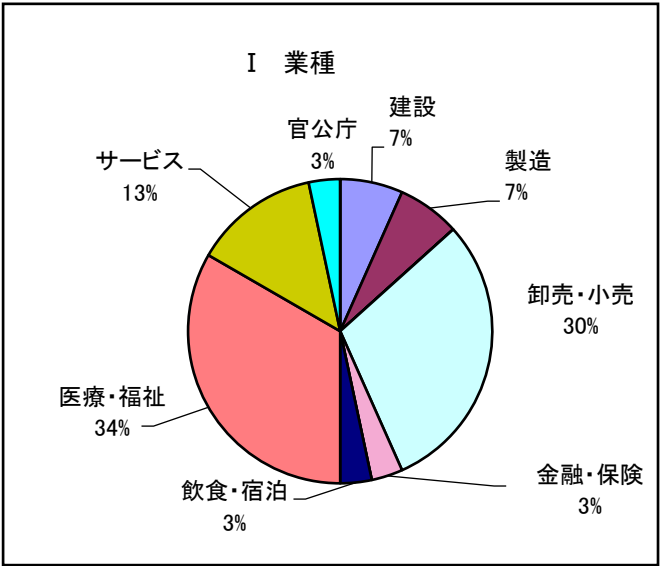
なお、4番目挙げられている項目は「礼儀・マナー」であり、秘書科教育の基本として、今後も
しっかり指導していく必要がある。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象	令和2年度高松短期大学秘書科卒業生就職先 45社(院)		
実施時期	令和4年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	45社(院)	
	協力数	30社(院)	
回収率		66.7%	

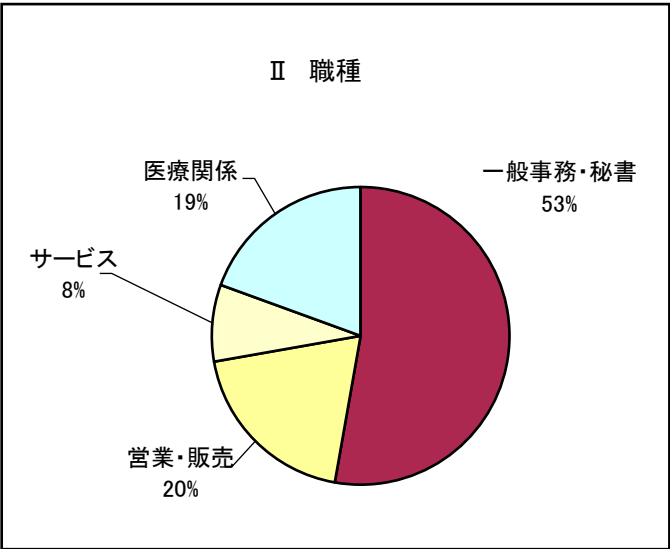
I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	2
2	製造	2
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	9
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	1
10	医療・福祉	10
11	サービス	4
12	官公庁	1
13	その他	0



II 令和3年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

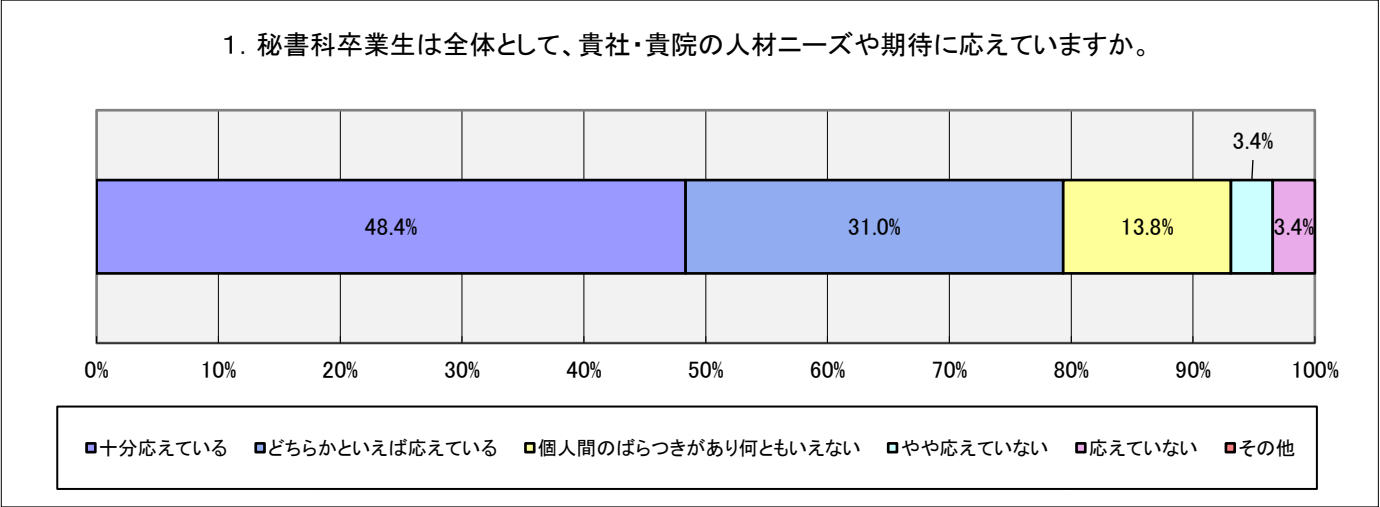
	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	一般事務・秘書	14	19	0
2	営業・販売	6	7	1
3	サービス	3	3	0
4	医療関係	7	7	1
5	その他	0	0	0



Ⅲ 令和3年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

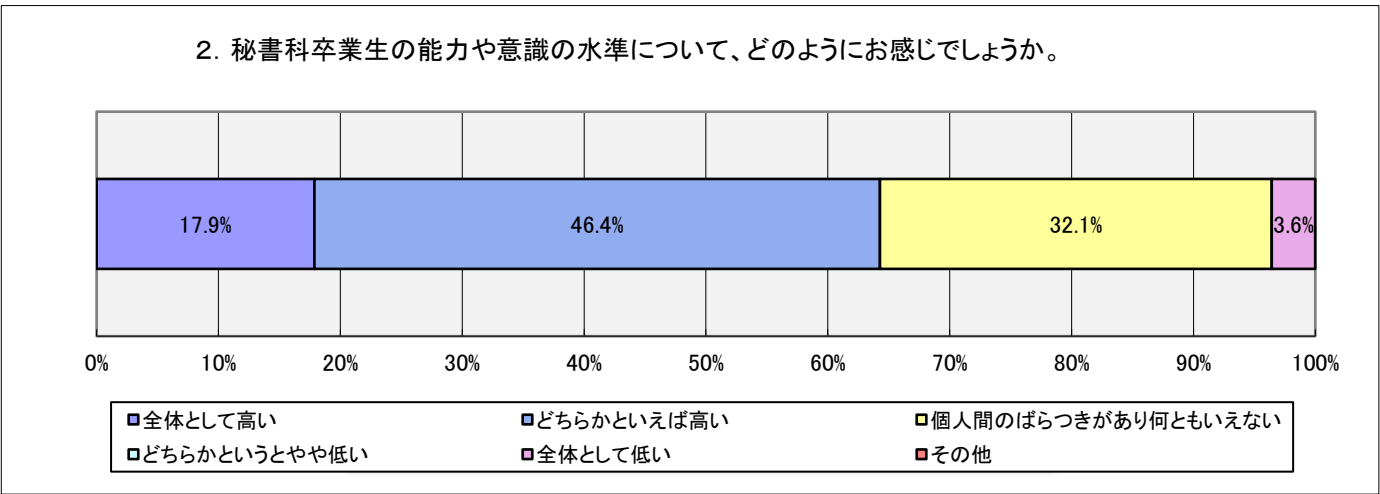
1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	14
2	どちらかといえば応えている	9
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	0



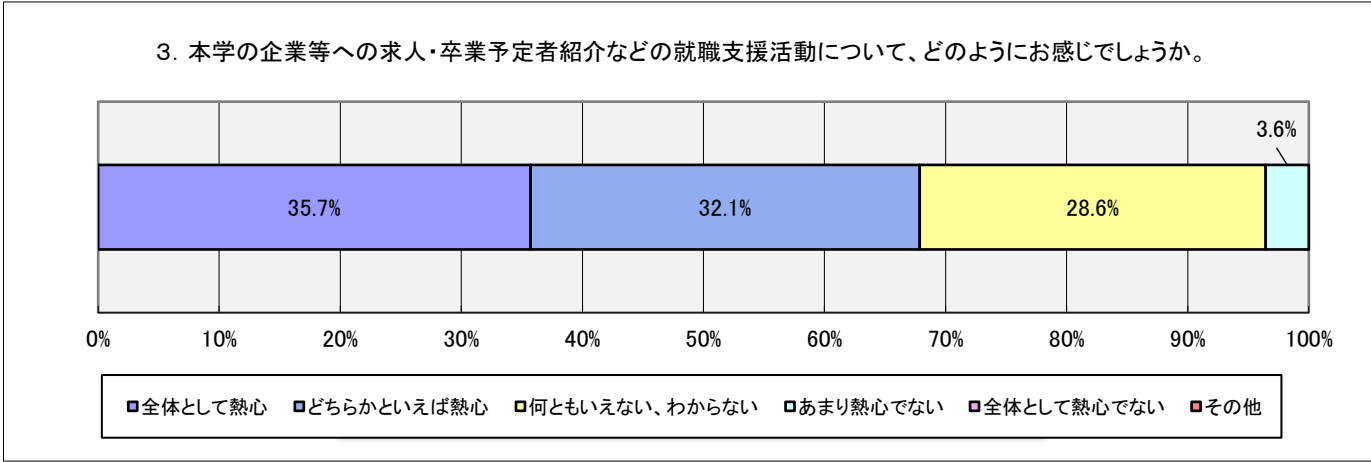
2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4	どちらかというやや低い	0
5	全体として低い	1
6	その他	0



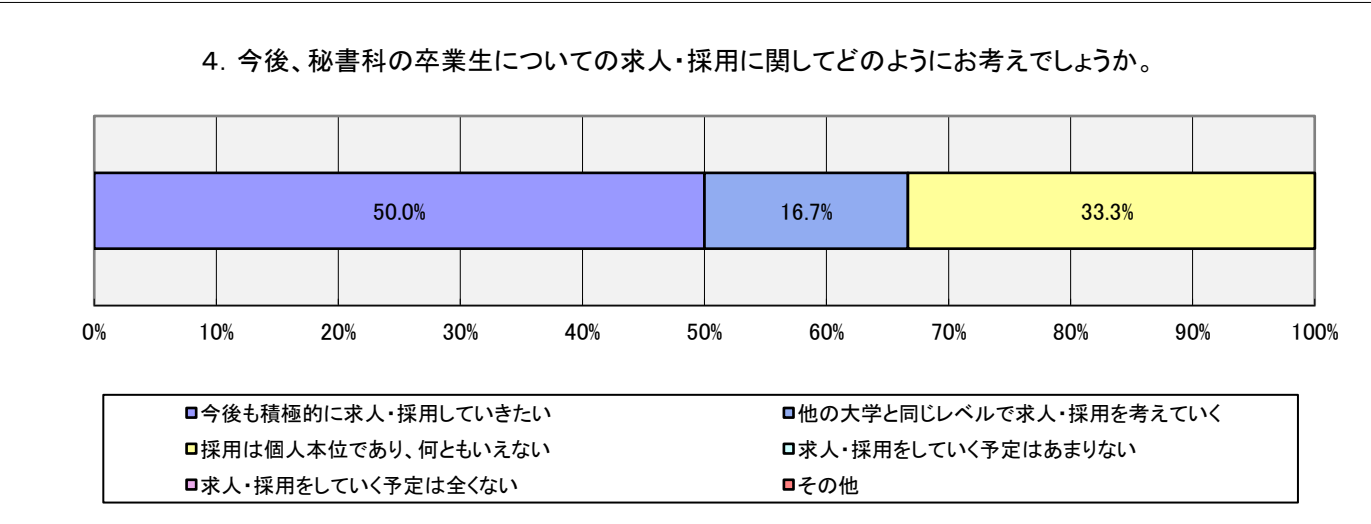
3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	10
2	どちらかといえば熱心	9
3	何ともいえない、わからない	8
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



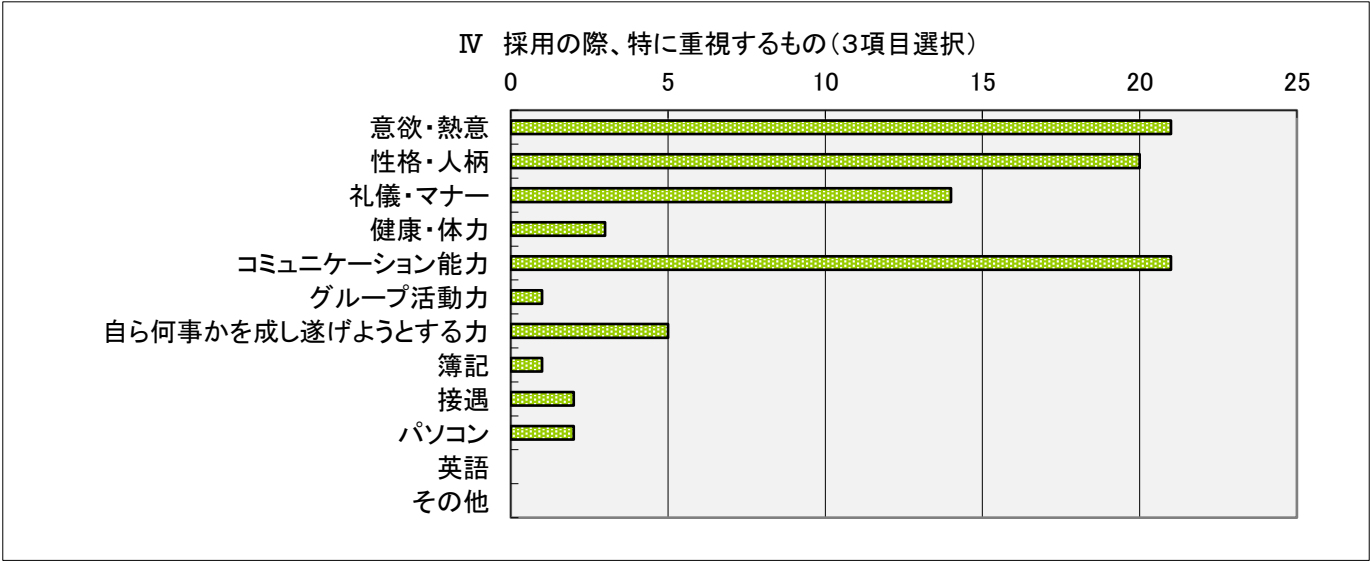
4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	15
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	5
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	10
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	21
2	性格・人柄	20
3	礼儀・マナー	14
4	健康・体力	3
5	コミュニケーション能力	21
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	簿記	1
9	接遇	2
10	パソコン	2
11	英語	0
12	その他	0



返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和4年7月29日(金)

高松大学 卒業生に関するアンケート (企業等)

I 貴社の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)その他 ()

II 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

- 1)営業・販売 名 2)総務・事務 名 3)製造・作業スタッフ 名 4)通訳・貿易 名
5)サービス 名 6)公務 名 7)その他 () 名

III 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の学部等名と人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1)経営学部 名 (内留学生 名) うち退職 名 (年 月)
2)発達科学部 名 うち退職 名 (年 月)
3)大学院経営学専攻 名 (内留学生 名) うち退職 名 (年 月)

IV 令和3年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1)十分応えている 2)どちらかといえば応えている 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)やや応えていない 5)応えていない 6)その他 ()

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として高い 2)どちらかといえば高い 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)どちらかというやや低い 5)全体として低い 6)その他 ()

3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として熱心 2)どちらかといえば熱心 3)何ともいえない、わからない
4)あまり熱心でない 5)全体として熱心でない 6)その他 ()

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1)今後も積極的に求人・採用していきたい 2)他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3)採用は個人本位であり、何ともいえない 4)求人・採用をしていく予定はあまりない
5)求人・採用をしていく予定は全くない 6)その他 ()

V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1)意欲・熱意 2)性格・人柄 3)礼儀・マナー 4)健康・体力
5)コミュニケーション能力 6)グループ活動力 7)自ら何事かを成し遂げようとする力
8)経営に関する専門知識 9)その他 ()

VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育の方針・内容について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先: F A X. 0 8 7 - 8 4 1 - 7 1 5 8 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締 切: 令和4年7月29日(金)

高松大学発達科学部 卒業生に関するアンケート (教育・保育等)

I 貴校(園、所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立幼稚園 2) 私立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立認定こども園 5) 公立保育所(園)
6) 私立保育所(園) 7) 公立小学校 8) 特別支援学校 9) その他()

II 令和3年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の人数(職種ごと)についてお答えください。また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 幼稚園教諭 名うち退職 名(年 月) 2) 保育教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育士 名うち退職 名(年 月) 4) 小学校教諭 名うち退職 名(年 月)
5) 特別支援校教諭 名うち退職 名(年 月) 6) 地域子育て支援センター職員 名うち退職
名(年 月) 7) 学童保育担当 名うち退職 名(年 月) 8) 病児保育担当 名
うち退職 名(年 月) 9) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和3年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園、所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()

2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()

3. 本学の貴校(園、所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。(公立校の場合回答の必要はありません。Ⅲ4、Ⅳについても同様です)

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴校(園、所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識 9) その他()

V 発達科学部の卒業生をご採用いただいた立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....

VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。

貴校(園、所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

◇卒業生数 名

◇職種 1) 幼稚園教諭 名 2) 保育教諭 名 3) 保育士 名

4) 小学校教諭 名 5) 特別支援学校教諭 名 6) その他() 名

◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他() 名

◆貴校(園・所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締 切：令和4年7月29日(金)

高松短期大学保育学科 卒業生に関するアンケート

I 貴園(所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立保育所(園) 2) 公立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立保育所(園) 5) 私立幼稚園
6) 私立認定こども園 7) その他()

II 令和3年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。(複数名いる場合は、空きスペースにお願いします)

- 1) 保育士 名うち退職 名(年 月) 2) 教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育教諭 名うち退職 名(年 月) 4) 講師 名うち退職 名(年 月)
5) 臨時職員 名うち退職 名(年 月) 6) 預かり保育 名うち退職 名(年 月)
7) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
8) 学童保育担当者 名うち退職 名(年 月) 9) 病児保育担当者 名うち退職 名(年 月)
10) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和3年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

- 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に应运えていますか。
1) 十分应运えている 2) どちらかといえば应运えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや应运えていない 5) 应运えていない 6) その他()
- 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()
- 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()
- 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。
1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴園(所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 保育技術(ピアノ等)や知識・能力 9) その他()

V 保育学科の卒業生をご採用いただいた立場から、本学保育学科の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....
.....

VI 最後に、本学保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。

貴園(所)では、現在、職員として本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

- ◇卒業生数 名
勤務年数 1) 1年～3年 名 2) 4年～10年 名 3) 10年以上 名 4) 20年以上 名
◇職種 1) 保育士 名 2) 幼稚園教諭 名 3) 保育教諭 名 4) その他() 名
◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他() 名

◆貴園(所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和4年7月29日(金)

高松短期大学秘書科 卒業生に関するアンケート

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他 ()

II 令和3年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 一般事務・秘書 名うち退職 名(年 月) 2) 営業・販売 名うち退職 名(年 月)
3) サービス 名うち退職 名(年 月) 4) 医療関係 名うち退職 名(年 月)
5) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和3年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他 ()

2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他 ()

3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他 ()

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他 ()

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 簿記 9) 接遇 10) パソコン 11) 英語
12) その他 ()

V 秘書科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和４年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
（令和２年度卒業生対象）

発行日 令和４年９月３０日
編 集 高松大学・高松短期大学 学生委員会
発 行 高松大学・高松短期大学
〒761-0194
香川県高松市春日町 960 番地
TEL 087-841-3255（代表）
FAX 087-841-3064